

### 33 ひらがしじょうあと 平賀氏城跡



指定 県史跡 昭和46年5月27日  
 所在地 常和・平賀  
 所有者 個人37人



平賀城は元暦元年（1184）に平賀義信が築いたと伝えられ、標高840mの山上からは佐久平の大半を一望でき、甚だ地の利を得た山城である。

本城は西方を登城口とし、ここに小規模な枳形があり、続いて三之郭・二之郭・その上に主郭があって、周囲には大小さまざまな段曲輪が幾重にも交互に構築されている。

西方の一段下がった中腹には長方形の曲輪があり、その下に大小長短の腰曲輪が六段ほど作られている。尾根続きの大林寺山には、山腹を中心に西南に幾重にも腰曲輪をめぐらせ、砦を築いている。

東南の山腹には搦手曲輪があり、その石積みは確かさをみせている。

平賀城は規模が雄大で変化に富み、旧態をとどめている遺構であるが、築城者や縄張りについては、いくつかの問題点が残されている。

- 参考資料
1. 「平賀村誌」 昭和44年 平賀村誌刊行委員会
  2. 「平賀氏城址」 昭和53年 平賀氏城址保存会